

地域の皆さんも気軽に 道工大図書館へ



平成22年10月9日から、道工大図書館は、利用者がもっと利用しやすくなるように土曜日開館を開始しました。お気軽にご来館ください。

利用方法・開館日などについては、道工大ホームページの「図書館・情報施設」でご確認いただくか、電話でお問い合わせください。

開館時間

平日：午前8時30分～午後8時

※春夏冬季休業中は午後4時30分まで

土曜日：午前10時～午後5時

図書館についてのお問い合わせ先

北海道工業大学図書館

☎688-2386 (直通)

地域と大学の連携

手稲区では、学生や大学をまちづくりのパートナーと考え、区内の北海道工業大学（道工大）との積極的な連携を進めています。平成20年3月には、手稲区連合町内会連絡協議会、道工大、手稲区の三者が「地域連携協定」を締結しました。

この協定により、大学の知的資源を地域課題の解決へ活用する取り組みや、地域と学生の交流が行われるなど、三者がお互いに連携しながら愛着と誇りの持てるまちづくりを進めています。

今回は、現役の道工大生がその取り組みの一部をご紹介します。

／ 私たちが
紹介します！ ／



このページは道工大生が
記事を作成、編集しました



↑平成22年からは新川通のさくら並木づくりに取り組んでいます。



↑近隣の町内会と協力してごみ拾いを行っています。



↑地域の夏祭りでもペットボトルロケット製作・発射指導をしています。

平成23年で20回目を 迎える夏の風物詩



工学部建築学科4年
おかもと まさこ
岡本 雅子さん

ていね夏あかり

平成22年7月にてっぽく・ひろばで開催された「ていね夏あかり」では、「ほたる」をテーマに約1万5000個のちょうちんが夏の夜を彩りました。

私たちは、区内の全16小学校や老人ホームなどで、ちょうちんの制作指導を行ったほか、会場の飾り付け、部材の制作などに携わりました。

ちょうちんに灯がともる時間は、わずか1時間半ほどですが、回を重ねるごとに地域の皆さんからの理解と協力が得られ、今ではすっかり手稲の夏の風物詩として定着し、区民の誇りになっていると感じています。

平成23年の夏は20回目を迎える記念の回です。より多くの皆さんのご参加をお待ちしています。



手稲区マスコット キャラクターの PRに奮闘中！



未来デザイン学部
人間社会学科2年
いじま なぎさ
井島 なぎささん

ていね活用プロジェクト

私たちの研究室では、「ていね活用委員会」の一員として、区民の皆さんと「ていね」のPR活動を行っています。平成22年の「ていね夏あかり」と道工大「大学祭」では、ぬいぐるみストラップや缶バッジ、マグネットなどのキャラクターグッズも販売しました。

現在は、「ていね紙芝居の読み聞かせ」と「ていねりえ」の2つのプロジェクトが動き出しています。紙芝居は、平成22年11月に手稲中央幼稚園で実施しました。ぬりえは、幼稚園や区役所窓口などで応募用紙を配布し（※募集は終了しました）、作品の展示会をJR手稲駅自由通路「あいくる」で開催予定です。プロジェクトの中で、いろいろな人とのかかわりを大切にしながら積極的に活動の場を広げています。

